



本城

かしこく
やさしく
たくましく



本城小 HP

学校便り 2月号
鹿児島市立本城小学校
令和6年2月28日
発行責任者 牧住幸二

素直な子どもたち 学校に行くのが楽しみ 校長 牧住幸二

そもそも、学校に行くのが楽しみと言ってくれる。それが自分たちの目指しているところです。何が楽しいの？と聞かれた時に、友だちと一緒に遊ぶのが楽しいではないですか。「勉強するのが楽しい！」「運動するのが楽しい！」「本を読むのが楽しい！」であったらなおさらです。一番好きなのは「給食」と答える子もいる。それが本当の「素直な子どもたち」だと思います。

左記に掲げるのは先日、新聞に掲載された児童の作文です。給食が楽しみ！という子どもらしい言葉でした。

奄美の鶏飯は学校給食の中でも人気メニューです。味噌おでんにワクワクするという言葉！素直に感動しました。

投稿を読まれた給食センターの方々にも多大な喜びと勇気を与えたようです。

近年、学校現場では「不登校」という課題を抱え深刻化しています。学

給食大好き

本城小3年 末吉将宗

奄美のけいはんとがねを給食で食べました。みんな奄美のけいはんが好きです。とり肉やシイタケなどの具をごはんにのせたら、スープをかけて、お茶漬けみたいにして食べました。とてもおいしくておかわりをしました。

がねは、ぼくが野菜の中で二番目に好きなニンジンやサツマイモなどをまぜて揚げていました。一個ずつだったので、もう一個食べたかったです。

一月は「かごしまをまるごと味わう学校給食」でした。さつまじりやかるかん、さつま芋もじなど郷土料理も食べました。

給食は毎日おいしいです。今日の給食はとくに美味しかったです。で、また食べたいです。

明日は寒い冬に合う「味噌おでん」です。わくわくしてたまりません。早く学校に行きたいです。

令和六年一月
南日本新聞「若い目」掲載

校に通えなくなっている児童生徒の数は過去最大と言われます。（全国的な傾向）

だからこそ、学校現場というのは安心して過ごさせて楽しいところであればと考えています。先月初めに被災した現状も踏まえて笑顔で給食を食べられることに幸せを感じることでした。



なわとび大会開催

なわとびは大変手軽な運動です。場所をとることなく、1人でも短時間で体力向上に努められます。

中々できなかつた難しい跳び方が自然とできるようになり、笑顔にあふれる子どもたちの姿がありました。持久とびは5分間でしたが、何人かはクリアできて安堵の表情を浮かべていました。

時には家族で各家庭でもいかがですか？昔はできた跳び方もなかなか難しいものです。



いよいよ 旅立ちの3月へ 6年生3名の卒業式になります

本城小の現状についてはこれまでも伝えて来ました。児童数の減少に危惧を抱いてきました。

最近になって若干名、転入生も来ており、何とか現在の人数は維持できそうな予定でいます。

しかしながら、一年生の入学が無く、下学年の児童が少ないという状況は変わりません。

本城地域に元気をもたらす拠点として、少しでも学校を盛り上げていきたいと思っておりますので、今後サポートをよろしくお願いいたします。いよいよあとひと月！頑張っていきたいと思っております。



令和6年
3月22日(金)
10時~

手作り絵本いただきました

吉田公民館の社会教育講座「美文字サークル」の皆様から、作品でもある絵本をいただき図書室に飾っています。

サルカニ合戦の絵本をもとに、美しい文字で手書きされた、心温まる作品です。

本城小の子どもたちにあげようという気持ちが大変嬉しかったです。

学校を応援して下さる方が増えて大変嬉しいプレゼントでした。



令和5年度鹿児島学習定着度調査結果

1月に5年生が取り組んだ鹿児島学習定着度調査は、全教科県平均を上回る結果でした。

調査結果から課題となっている事項等が見られましたので、今後下記の6つの視点から学力向上の取組を進めていきたいと思っております。

- (1) 実態把握
- (2) 授業の充実
- (3) 全校体制による指導
- (4) 家庭と連携した学習
- (5) 組織での取組
- (6) 教職員の資質向上

